

★グループワークの整理

【日常生活について】

- ・家族やデイサービスがない間の食事、トイレ、入浴が不安
- ・日中一人の時間に転倒等が心配
- ・日中は孤独
- ・情けない
- ・楽しみや生きがいがない
- ・物忘れがあり、思い込みが強くある
- ・話を聞く力がない
- ・理解力が低下しており、話がしにくい
- ・自分の体が思うように動かない
- ・施設への入所は望んでいない(自立したい)
- ・人と会話したい
- ・もともと地域で活躍していたというプライドがある
- ・災害について日頃から考えていない
- ・我が家は大丈夫！と思っている
- ・災害のことは楽観視している(起こらないだろう)
- ・車いすが必要？
- ・死後、家の片づけが気になる
- ・2, 3年後の生活が心配

*どのような支援が必要か

- ・家族にも防災アプリを入れてもらう
- ・避難場所や避難経路を教えてあげる

*あなたができること

- ・困っている時に声掛けをする、相談に乗ってあげる
- ・気にかけてあげる、見守りをして話を聞いてあげる
- ・避難所まで Aさんと歩いてルートや危険個所を知ってもらう

【家族との人間関係】

- ・災害が起きた時助けてくれる頼りになるのは娘だけ
- ・娘が結婚しないので、孫の顔が見れずさみしい
- ・長女の体のことが心配
- ・長男が元気であるか心配
- ・長男は遠方にいて頼れない、いざという時の助けは誰に頼めばいいのだろう
- ・親戚の支援は望めない
- ・ペットは家族。癒しになっている
- ・犬も高齢なので、何かあったら心配(犬も元気でいてほしい)

*どのような支援が必要か

- ・隣の人や近所の人と仲良くなる
- ・避難所にペットを連れていける多様性が必要

*あなたができること

- ・自治会との関係を取り持つ
- ・自治会長と長男・長女と話し合う
- ・ペットも一緒に避難できるようにしてあげる

【近隣住民との人間関係】

- ・地域内で孤立している、接点がなくコミュニケーションのきっかけがない
- ・長女が仕事に行っている日中、地域の方とのコミュニケーションがない
- ・隣の家の家族、30代夫婦との仲はどうなのか
- ・友達と話したい、さみしい、不安
- ・友人に会いたいのに関係が自分では会いに行けない
- ・何かあったときは娘に頼れないから、頼める人を決めておきたい
- ・町内会が何をしているのか知らない
- ・自治会長との接点がないので支援が受けにくい
- ・近所の人に心配をかけるのでは？という不安がある
- ・子供と触れ合いたい

***どのような支援が必要か**

- ・Aさん宅への訪問、訪問(自治会長、民生委員、防災リーダーなど)
- ・地域行事の機会があるごとに誘ってあげる

***あなたができること**

- ・見守り活動、声掛けをする
- ・訪問して顔見知りになる(犬とも友達になる)
- ・民生委員、市の福祉担当者をつなぐ
- ・近所の人で、いざという時に助けられる人を決めておく
- ・本人の意向を聞く
- ・デイサービスの人の話を聞く
- ・お隣さんに一言「声をかけてあげて」とアドバイスする

【災害時について】

- ・避難先のトイレ、食事、入浴、床での寝起などに困る
- ・避難する手段が分からない
- ・災害時の助けを誰に依頼すればよいのか分からない、不安
- ・避難所が近くに無い
- ・避難所へ自分で行くことができない
- ・「逃げない」という選択
- ・屋外犬なら世話が難しいのではないか

***どのような支援が必要か**

- ・介護用品等を地域でそろえる
- ・「逃げない」という気持ちは分かるが、捜索する人への負担が大きいことを理解してもらう

***あなたができること**

- ・声掛けしてあげる、助け合う
- ・話を聞いて、必要な物を用意してあげる